令和7年アユ産卵調査結果 (調査終了)

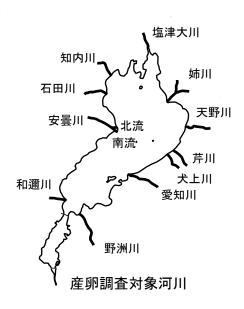
滋賀県水産試験場

調査概要

アユの主要な産卵場となる11河川を対象に、下流域の一定 区間で産卵数を調査しています。第5次までの有効産卵数は 合計40.7億粒で、平年の61.8%となりました(表1、表2)。

今年の親魚量は平年と同程度であったものの、河川の高水 温や著しい渇水により産卵数が少なくなったと考えられます。

今後のアユ資源状況については、ヒウオ生息状況調査(10~12月)や魚群探知機を用いた魚群数調査(翌年1月~8月)、孵化日組成調査等で評価していきます。



(単位:億粒)

0.3

40.7

0.0

0.2

1. 調査河川ごとの有効産卵数*

河川名	第1次調査	第2次調査	査 第3次調査 第4次調査		第5次調査	計**
	8月25日~8月28日	9月8日~9月11日	9月22日~9月25日	10月6日~10月9日	10月20日~10月24日	
安曇川北流	渇水	渇水	渇水	渇水	渇水	0.0
安曇川南流	0.0	0.0	0.1	4.1	0.1	4.3
石田川	0.0	0.0	3.9	8.4	0.0***	12.2
知内川	0.0	10.1	8.4	1.6	0.0***	20.1
塩津大川	0.0	0.0	0.0	0.0***	0.0***	0.0
姉川	0.0	0.0	渇水	2.1	0.0***	2.1
天野川	0.0	0.0	0.6	0.0***	0.0***	0.6
芹川	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.5
犬上川	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5
愛知川	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0***	0.0
野洲川	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

0.0***

13.9

0.3

16.5

0.0

10.1

2. 有効産卵数の年別比較

0.0

0.0

和濔川

計**

(単位:億粒)

年	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	第6次調査	第7次調査	計**
H27	0.0	79.3	15.4	2.1	0.2	0.0		97.1
H28	0.0	6.4	170.7	36.7	0.0	0.0		213.8
H29	0.0	0.1	2.4	0.2	0.0	0.0		2.7
H30	0.1	8.4	3.8	0.2	0.1	0.2	0.0	12.8
R1	0.0	13.1	25.7	11.7	3.1	0.0		53.6
R2	0.0	12.4	28.9	4.7	1.7	0.0		47.8
R3	2.7	136.2	12.4	1.8	2.5	0.6		156.2
R4	3.8	18.0	36.5	0.5	0.1	0.0		58.9
R5	0.0	7.7	5.3	1.9	0.2			15.2
R6	0.0	7.6	19.3	5.1	0.5	0.0		32.6
R7	0.0	10.1	13.9	16.5	0.2			40.7
							平年値	65.9

^{*} 平年値は過去10年のうち、最大値、最小値および過小評価と判断されたH30年の値を除く平均値です。

^{*} 有効産卵数:総産卵数から死卵数を除いた値。***単位未満の産卵がありました。

^{**} 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。

^{**} 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。